

東京都大田区と仙台市で

特産品や観光のPRイベント開催

2月26日から3日間、檜山管内7町が連携して、東京都大田区で観光や特産品など檜山の魅力をPRするイベント「ひやま食・観光フェア」が開催され、5200名が来場しました。

会場の東急プラザ蒲田では、各町から地域の特産品約200品目が販売され、その内本町は「ホッケの開き」「ヒラメの切り込み」「フルーツポーク」など40品を出品しました。

また、会場が東京都ということもあり、食材として触れる機会が少ないアワビなどには調理法の質問もあり、来場者は北海道ならではの食材に興味津々な様子で、総じて好評を博していました。

また、他には檜山管内7町のゆるキャラによるクイズイベントなども開催され、特にお子さん連れなど、多くの方々に楽しんでもら



うことが出来たイベントとなりました。

また、2月26日には、仙台駅において、北海道新幹線開業に合わせた観光PRも行われました。

これは、上ノ国町・江差町・松前町が、関連の深い歴史分野で連携する「北海道歴史倶楽部」の活動の一環で、新幹線発着のある仙台駅で観光をPRし、こちらを訪れてもらおうと行われたものです。

本町からは、観光協会（八十科剛会長）がPR活動に参加し、歴史の物語豊かな3町の魅力を仙台の方々に少しでも知ってもらい、是非一度訪れて、触れてみて欲しいと訴えました。

新幹線は3月26日に開業しましたが、今後もこうしたPR活動が続けられる予定であり、今後の交流人口の拡大が期待されます。

昔からの地域のお菓子 もんじゅで草餅づくり



3月6日、伝統の味である「草餅」の作り方を習う教室が、上ノ国町物産センター連絡協議会（佐藤真治会長）主催のもと、道の駅もんじゅにて開催されました。

会場には、地域の方々と親子連れなど約20名が集まり、柔らかくもっちりとした草色のお餅と、自然な甘さが絶妙なアンコを上手く組み合わせて、それぞれが草餅づくりを楽しんでいる様子でした。

会場で指導にあたった、昔ながらのお菓子などを販売しているたんぽぽ会代表の久末さんは「こうした活動を通じて、若い世代の方にも草餅など昔のお菓子などのおいしさを知ってほしい」と話し、今後もこうした活動を行っていきたいとのことでした。

結成30年の節目 南部檜山美声会チャリティショー

3月20日、南部檜山美声会（布施美治会長）主催による、第17回南部檜山美声会チャリティショーが、ジョイじよぐらにて開催されました。

今年は、南部美声会が結成されて30年目となる節目の年で、この日の為に紫色地で背中に美声会と入ったお揃いのTシャツを作成し、結束を新たに準備を進めてきたとのことでした。

会場では、参加者約50名が、訪れた大勢の来場者に向けて迫真の演技と歌を披露し、最後まで拍手が絶えない温かな雰囲気の中で行われました。

チャリティーとして集まった寄附金は、最後に上ノ国町社会福祉協議会へと寄附され、まちの福祉増進のために使われる予定です。

